

薬剤科 DI ニュース

薬物代謝相互作用について

肝細胞に存在する薬物代謝酵素チトクロム P450 (CYP) は基質特異性が低いため、1 つの酵素が複数の薬物の代謝に関与している。したがって、同一の CYP で代謝される薬物を 2 つ以上投与すると互いに影響し合い、これらのうち CYP に対する親和性が強く、かつ代謝されにくい薬物が阻害剤として働く。下の表は CYP3A、CYP1A2 によって代謝される主な当院採用薬をまとめたものである。下記の①と②の薬剤を併用する際には、①の代謝が阻害され、薬効が増強する可能性があるため注意が必要である。

① CYP3A で代謝される主な薬物	
睡眠薬	ハルシオン、ドルミカム
抗不安薬	コンスタン、セルシン・ホリゾン
抗うつ薬	トリプタノール
抗てんかん薬	テグレトール
抗不整脈薬	アンカロン、キシロカイン、プロノン、リスモダン
Ca 拮抗薬	アダラート、ヘルベッサー、ワソラン
抗高脂血症薬	リポバス、リピトール
抗潰瘍薬	オメプラール
抗菌薬	エリスロシン、クラリス
免疫抑制薬	ネオーラル、プログラフ
② CYP3A を阻害する主な薬物	
抗真菌薬(アゾール系)	フロリード、イトリゾール、ジフルカン、プロジフ
抗菌薬(マクロライド系)	エリスロシン、クラリス

① CYP1A2 で代謝される主な薬物	
抗うつ薬	トリプタノール
β遮断薬	インデラル
筋弛緩薬	テルネリン
気管支拡張薬	テオドール
② CYP1A2 を阻害する主な薬物	
抗うつ薬	デプロメール
抗菌薬(ニューキノロン系)	シプロキサ